

キャッシュ・フロー計算書
平成18年4月1日から平成18年9月30日まで

(本州四国連絡高速道路株式会社)

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	3,014	
高速道路事業固定資産減価償却費	564	
関連事業固定資産減価償却費	54	
各事業共用固定資産減価償却費	77	
貸倒引当金の増加額(△は減少額)	△ 2	
退職給付引当金の増加額	206	
役員退職慰労引当金の増加額	2	
賞与引当金の増加額	56	
E T Cマイレージサービス引当金の増加額	247	
受取利息及び受取配当金	△ 5	
支払利息	33	
各事業共用固定資産売却益	0	
高速道路事業固定資産除却費	78	
各事業共用固定資産除却費	0	
高速道路事業営業未収入金の減少額(△は増加額)	△ 129	
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 288	
高速道路事業営業未払金の増加額	174	
その他の資産の減少額(△は増加額)	△ 540	
その他の負債の増加額(△は減少額)	△ 353	
小計	3,190	
利息及び配当金の受取額	2	
借入利息の支払額	△ 32	
法人税等の支払額	△ 1,194	
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
高速道路事業固定資産の取得による支出	△ 4	
各事業共用固定資産の取得による支出	△ 10	
各事業共用固定資産の売却による収入	146	
関係会社株式の取得による支出	△ 100	
投資有価証券の取得による支出	△ 499	
転貸資金の回収による収入	1	
その他	△ 1	
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
道路建設関係長期借入金による収入	800	
長期借入金の返済による支出	△ 443	
転貸資金の返済による支出	△ 1	
財務活動によるキャッシュ・フロー		355
現金及び現金同等物の増加額		1,854
現金及び現金同等物の期首残高		7,158
現金及び現金同等物の期末残高		9,013

(注)

(1) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許資金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(2) 重要な非資金取引

① 当中間期に、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法第15条の規定により、(独)日本高速道路保有・債務返済機構が当社から債務引受した道路建設関係長期借入金は、2,022百万円です。

② 当中間期に、財団法人本州四国連絡高速道路協会より購入したサービスエリア・パーキングエリアの建物等の価格は958百万円であり、代金は平成18年4月より20年間元金均等月賦により分割して支払うこととしております。